

2026年3月5日(木)に、第15回小規模交流勉強会を開催いたしました。

2026年3月5日(木)に、第15回小規模交流勉強会を開催しました。今回は「人材育成～心は鍛えられるか」をテーマに、教育界の内部から改革を実行して世間から注目されている当社団参与の工藤勇一さん(教育アドバイザー、横浜創英中学・高等学校元校長)をプレゼンターとしてお招きし、10名の会員の皆様の参加を得て「交流と学び」の有意義な時間を過ごしました。



【工藤勇一氏】

工藤さんはサッカー元日本代表監督の岡田武史さんとの共著「ザ・キャプテンシップ」の中で、キャプテンシップとは人を強引に動かす力ではなく、人が自ら動き出す環境をつくる力というイメージであると語られています。今回の勉強会は、工藤さんから組織力を強くする人づくりの極意について学ぶ企画といたしました。



【勉強会の様子】

先ず、工藤さんから、長い年月をかけて築いてきた欧州の管理教育手法を日本は明治維新に採り入れたが、日本は今日までその教育手法が継続されてきたと歴史を紐解かれました。工藤さんは管理教育を抜本的に変えるため、ご自身が改革の先頭に立って校長を経験された麴町中学校や横浜創英中学校・高校の改革に取り組まれた時の本音の話を伺いました。

参加の皆さんから「社長として取締役との意思疎通の悩み」「主体性ある従業員の採用や人づくりの悩み」「指示待ち人間への対話の工夫」「違う世代に対するコミュニケーションの悩み」など経営上の課題や「親としての子ども不登校や子育ての悩み」、「教員の娘を持つ親の悩み」など家庭の問題など、企業における人材づくりから家庭の教育の悩みまで、様々な問いかけに工藤さんから丁寧にお答えいただきました。

人と人のぶつかり合いは上位概念に戻ることが重要で、対立でも戦いでもないと説かれました。自主性ではなく主体性へと導き、当事者意識を持たせる工夫や熱意のこもった対話により、人は変わることが出来るという工藤さんの説明には、経験に裏打ちされた確かな説得力がありました。参加の皆さんは感動や共感を覚えたようで一様に納得されていました。皆さんの問題意識が旺盛であったこともあり、司会の時間管理が行き届かなく30分も超過するほどに熱気が上がりました。参加の皆さんお疲れ様でした。

最後に、今回は工藤さんから貴重な書籍の配本を頂き心より感謝いたします。

小規模交流勉強会は、月2回ペースで開催している会員の新しい「交流と学びの場」として社団独自に進めている活動です。次回は3月26日に齊藤惇理事との放談会を企画しております。引き続き、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(永峯記)



【記念写真】